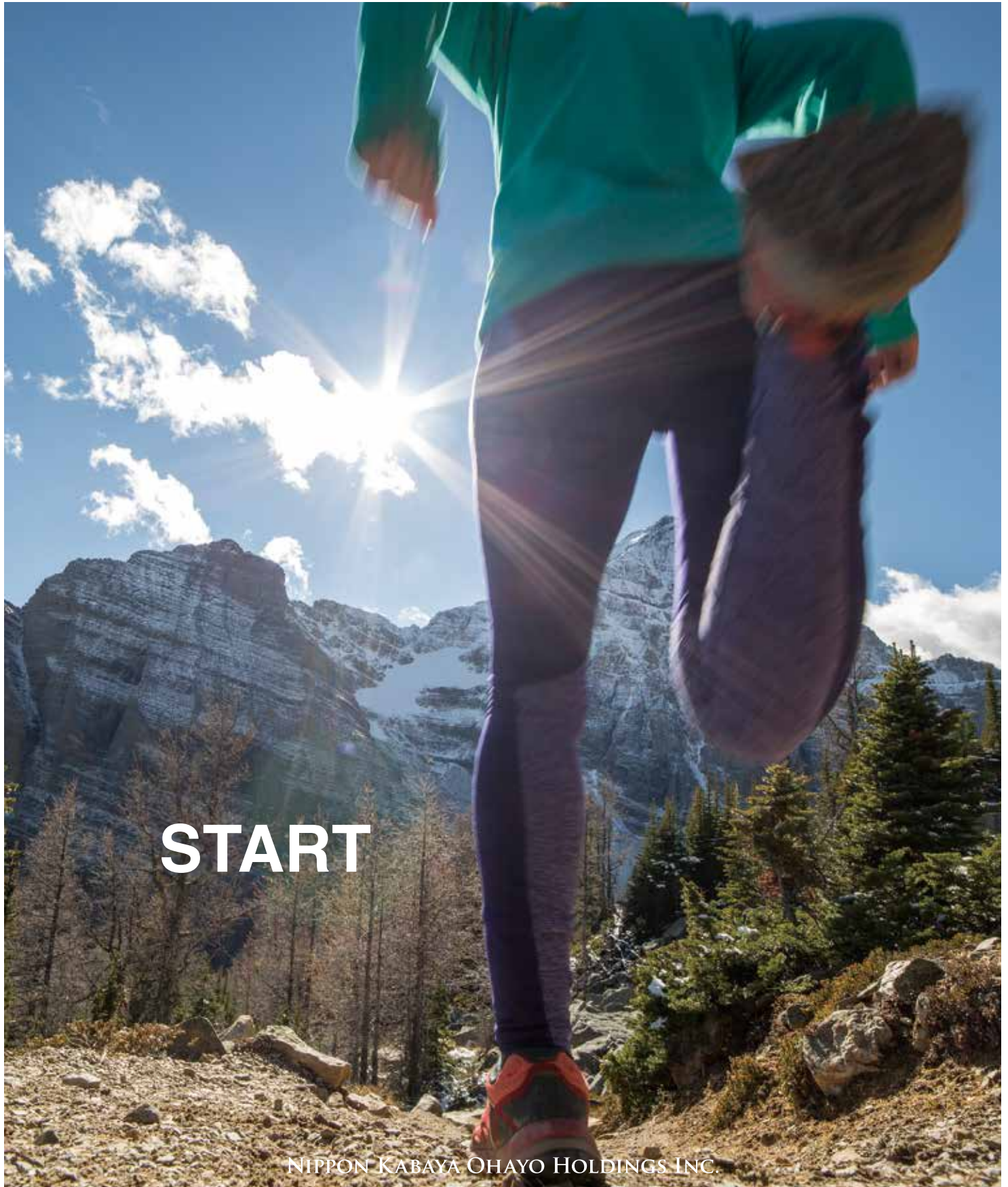


ALL for ONE

Corporate Communication Magazine

Vol.11



START

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする

中長期経営計画スタート!!

目的を一致させ、社内だけでなく、
ステークホルダーの方々と共有、
そして連携・連動しよう！

自分のため、社内のためだけの計画ではなく、
中長期経営計画は我々に関わっている
全ての人と共有すべきものです。



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津 基弘

生産者、中間流通企業、消費者…我々に関わる全ての人の
想い、その全ての人の欲求を満たせなければ、達成すること
はできません。

社内に答えはありません。社外の現場の方々の
意思を反映したプランだからこそ、確信のある
意思決定となります。

生々しく、泥臭く。現場に足を運び、
真剣に人が生きているその姿を理解し、
カタチにすることが真のコミュニケーション。

中長期経営計画は社内外の方々との約束です。

達成するための『自分のドリームプラン』を立てて下さい。
そのプランに社内外の現場の方々の意思を盛り込み、
巻き込んで下さい。

やり抜く力。約束は必ず守ること。社内外の仲間と
達成することに、自己成長と企業の成長があります。



ザ・ロイヤル ゴルフクラブ グランドオープン！

圧倒的な世界基準のゴルフ場完成

東京レジャー開発は、3月25日、茨城県鉾田市のゴルフ場「ザ・ロイヤル ゴルフクラブ」のクラブハウス完成を記念し、グランドオープンセレモニーを開きました。

取引先の企業経営者を中心に約300人が来場。多くの人が床や壁、天井、家具などすべて本物の「木」を使用しているクラブハウスに目を奪われていました。今回、プレオープンとは違った音楽イベントを企画。趣向を凝らした演出に多くの来場者が期待を寄せる中、セレモニーが開幕！



スペシャルライブは大盛り上がり

オープニングムービーでは、コース、クラブハウスが完成するまでの軌跡を紹介。スタートから約1年半で世界基準のゴルフ場を完成させたことに改めて驚嘆させられます。基弘社長は「クラブハウス、コースともに世界に誇れる日本最高峰のゴルフ場が完成しました。これからがスタートです。世界基準という高い志を持ち、努力していきます」と力強くあいさつしました。

来賓祝辞では、橋本昌茨城県知事が「茨城県の特徴の一つに挙げられる素晴らしいゴルフ場だと思っています。ぜひ、このコースで大きな大会を開催してほしい」と大きな期待を寄せていました。また、額賀福志郎衆議院議員は「地域の発展に貢献してもらうため、ゴルフ界の横綱を目指し、世界に名をとどろかせてほしい」とエールを送って下さいました。

待望のスペシャルライブでは松任谷由実さん、YMOをデビューさせたプロデューサー、作曲家の村井邦彦さんと、日本ロック歌手の草分け的存在、小坂忠さんによるライブを開催。小坂さんは代表曲「ほうろう」を披露し、会場はすっかりFunky & Grooveなパーティーへ！そして、村井さんが作曲した「翼をください」も歌い、来場者から万雷の拍手を受けました。

最後に堀井秀則副社長は「これからが本当のスタートです。多くの人の縁でつくり上げることができたこのゴルフ場を日本を代表するゴルフ場に、世界中のゴルファーに楽しんでもらえるよう尽力していきます」と抱負を語りました。



来場者インタビュー

大阪シーリング印刷(株) 代表取締役社長

松口正さん

世界基準のゴルフ場にとっても感銘を受けています。これからこのゴルフ場で過ごすゴルフライフが楽しみです。

KISCO(株) 代表取締役社長

岸本剛一さん

すべて本物の木材にこだわっているクラブハウスが素晴らしい。コースのラウンドに加え、宿泊するのも楽しみです。

ゴルフフォトグラファー

宮本卓さん

日本にこれまでなかった、世界に誇れるゴルフ場が完成したと思っています。これからどんな挑戦をするのか楽しみです。

クオンタムリブ(株) 代表取締役

出井伸之さん

こんなにいろんな業界の人が訪れているのを見て驚いている。何より早くこのゴルフコースをラウンドしてみたい。

黒潮カントリークラブ支配人

葛根政雄さん

約1年半でここまで仕上げたことに驚いている。スタッフが一致団結して、世界トップ10のゴルフ場を目指してほしい。

岡本一宣デザイン事務所

岡本一宣さん

豪華だけでなく、ゴルフを単純に楽しめるようにデザインされています。これからどう進化するのかも楽しみです。

(一社) レッシー・プロジェクト 代表

廣戸聡一さん

世界に通用するコースができました。これから世界に通用する選手育成に全力で取り組みます。もちろん自信ありますよ。

清野建築設計事務所

清野勝さん

最初に感じた感想は「異空間」。ゴルフ場にいるという感覚がまったくない。本当にすごいゴルフ場です。



ザ・ロイヤル ゴルフクラブ クラブハウスリニューアル 細部までホンモノにこだわった 自然の“風合い”を感じる大空間

ひとたびクラブハウスに足を踏み入れると、そこには自然の風合いが感じられる優しい空間が広がっている。いつまでも留まっていたくなるような、必ず戻ってきたくるような、そんな場所。“風合い”をテーマにデザインを手掛けたスーパーポテト代表・杉本貴志氏が目指した空間だ。

3階建て、延べ床面積4000㎡。通常のクラブハウスの倍以上ある大空間。広すぎるがゆえの使い勝手の悪さ。それでも、杉本氏はこのスペースを木や石、土といった自然の素材で埋め尽くすという壮大な未来図を描いた。壁、床、天井、柱、家具など細部に至るまで、本物の素材を使用することで、世界でも類を見ない唯一無二のクラブハウスを造り上げた。

中でもこだわったのが、モザイクパーケットと呼ばれる寄木張りのフローリング。素材の異なる木を張り合わせ、美しい模様を描きながらも場所によってパターンを変えることで同じ建物内でも違った印象を与える。加えて、壁に木

の格子をあしらうことで、床から天井まで一貫して木の風合いが感じられる心地良い空間に仕上げている。

ロビーフロアは、落ち着いた色味の寄木フローリングを敷き詰め、中央には植栽を配置。本物の木々が温かく出迎えてくれる。全面ガラス張りのダイニングでは、食事をしながら四季折々に変化するコース風景が大パノラマで眼前に広がり、本格的なバーラウンジでは、ソファでくつろぎながらお酒やシガーを楽しむこともできる。他にも、女性へのおもてなしにこだわり、ゆっくり身支度できるパウダールームや個室のシャワールームも完備している。

クラブハウス同様、木のぬくもりを感じられる客室は、備品やアメニティにも一切妥協せず、日頃の疲れた心と身体を癒す最良のくつろぎを提供している。

豪華絢爛な調度品や美術品を飾らず、自然の風合いを生かし、細部までホンモノにこだわった安らげるクラブハウスをぜひ体感してほしい。



▲ The Royal Dining



▲ Club House



▲ Lobby



▲ Club House



▲ Pro Shop



▲ Library



▲ Room



▲ Guest Room



Life Design KABAYA

特集 新社名「ライフデザイン・カバヤ株式会社」に決定!

トップ3座談会

「人の和」「暮らしの和」 「自然の和」を大切に

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社は、2017年4月3日、「ライフデザイン・カバヤ株式会社」に社名変更しました。これまで以上にお客様とつながり、新たな商品やサービスを提供していく考えです。そこで今回、野津基弘代表取締役社長と窪田健太郎専務取締役、石本隆常務取締役に、社名変更の狙いや今後の展望などを聞きました。

座談会参加者

野津基弘 代表取締役社長

窪田健太郎 専務取締役

石本隆 常務取締役

——4月に新しく会社名をライフデザイン・カバヤ株式会社に変更しましたが、社名変更の狙い、目的を教えてください。

野津 住宅の販売会社としてスタートしたエス・バイ・エル・カバヤの歴史を大切にしながら、自主性に富んだ社風、文化をさらに飛躍させるのが狙いです。単に住宅を販売するのではなく、より豊かな「ライフデザイン」の提案を明確にしていきます。これまでに家を購入していただいた人たちにも親しんでもらえるよう「カバヤ」という名前は残しました。

——やはり「カバヤ」という名前を残したのは地元での知名度を考えてのことでしょうか。

石本 基本的に「カバヤ」という事に対して、従業員が誇りを持っていることが大きいのではないのでしょうか。

野津 ただこれからは、全国、世界展開を視野に入れているので、「ライフデザイン」という言葉に強い想いを込めています。

窪田 ライフという意味がどんどん一人歩きするようにしたいですね。生活を定義するだけでなく、お客様の人生そのものを彩るような意味にもなるように、さまざまなことを展開したいです。

——会社名に加え、ロゴマークも変更していますね。このマークにはどういう意味を込めているのでしょうか。

野津 ロゴマークは、和を大切にすることを表現しています。三つの輪は、「人の和」「暮らしの和」「自然の和」を意味しています。われわれが提案するデザインに、お客様が求めるデザインを合わせて輪をつくり、世界中の人々の理想的なライフデザインを提案したいという想いを込めました。

石本 お客様との和だけでなく、カバヤ食品やオハヨー乳業などグループ会社との和もこれまで以上に固く結んでいきたいと思っています。

——今年1月に「GRANZ（グランズ）」という新しい住宅ブランドを立ち上げました。これは新たな展開の第一弾という位置づけなのではないでしょうか。

野津 そうですね。グランズは、一流ホテルを超える快適性を追求していこうと思っています。ザ・リッツ・カールトンやグランドハイアットなど世界基準で建てられているホテルは、顧客が快適に歩けるような廊下の幅にしています。ドアも気持ちよく開け閉めできるように設計してあるんですよ。そういう使い心地や居心地の良さをしっかり提案させていただきたいと思っています。そのためには、社員は上質なものを見て、触って、感じる必要があります。でなければお客様に提案することはできないし、会社の価値も向上しませんからね。まさに私たちが掲げるブランド戦略、「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」ことを

これからも
お客様に寄り添い続ける



実現していくつもりです。

——快適性の追求というのは、具体的に言うとどういったことでしょうか。

窪田 グランズは「睡眠健康サイクルに特化した住宅」をテーマにしています。例えば、起床時刻に合わせて寝室に光が差し込むように設計するなど、質の高い睡眠につながる家づくりを提案していきます。

石本 より具体的に言えば、照明の当たり方やリビングの空間の使い方などを工夫することで、自然な眠りを促し、より深い睡眠がとれるようにしています。

野津 一見ただけでは気づかない空間デザインの妙を実感してほしいですね。表面に見えているデザインがすべてではありません。だれも感じられない目に見えないものでもちゃんと配慮しデザインする。だから「ライフデザイン」なのです。デザインの意味、奥深さをちゃんと皆さんに共有してもらいたいですね。

石本 営業としては、見ただけでは分からないものをどうお客様に伝えるかという課題がありますね。

野津 例えば、一泊二日の宿泊体験などを実施したらいい



のではないのでしょうか。新しいことに挑戦するということは、提案の仕方から変えなければなりません。いろんなことを考え、社員みんなでアイデアを出し合い、工夫を凝らすことで、より良い提案を導き出せると思います。

窪田 新しい価値を提案するためには、より深い知識が必要になります。裏を返せば、社員の成長に直結するということです。顧客満足度を高めるために知識を増やす。社員

の人間力向上が、会社のブランド力アップにつながるのではないのでしょうか。

——今回の社名変更で、今後会社をどう変えていくのでしょうか。

野津 カバヤ・オハヨーグループは、2016年4月1日、持ち株会社制に移行し、日本カバヤ・オハヨーホールディングスを設立しました。各社の有機的で強じんな連携をこれまで以上に推進し、グループ全体のブランド価値向上に取り組む中、社名変更を機に、戸建て住宅以外の事業を本格化する予定です。

石本 わが社は今年で創業45年を迎えます。これまでお客様にも社会にも、安心・安全を提供することを基本に、多様化するニーズに合わせて事業展開することで、岡山、広島を中心に年間約700棟を建設するまでになりました。これからはそれをベースに、新たなステージへ挑戦することになるでしょう。

窪田 今、建設業界は大きな変革期を迎えていま



木造の戸建て住宅から高層ビルまで
手掛ける木造ゼネコンに



より魅力的な人材を育成し、
ブランド力向上に尽力

す。2016年4月、強度や断熱性に優れた木の大型集成パネル建築材「CLT」関連の建築基準法に基づく告示が公布、施行されました。これにより、木材特有の断熱性と壁式構造の特性を生かし、戸建て住宅のほか、木造の中高層建築が可能になりました。カナダやアメリカ、オーストラリアではCLTを使った高層建築が積極的に建てられており、今後日本での利用は急速に伸びていくでしょう。わが社は先行して2016年3月、CLTを使った日本初の展示場「カバヤホーム倉敷CLT店」をオープンしました。これからは、木造の戸建て住宅から高層ビル建築までを一手に手掛ける木造ゼネコンを目指し、木造に特化した事業を日本全国で展開する予定です。

また、新社名にならって、これまで以上にデザインにこだわった家を建てていきたいですね。通りがかった人が「この家のデザイン、格好良いですね。どこで建てたんですか」と訪問してもらえるような家をつくりたいと思います。

石本 これまでに当社で家を建てていただいたお客様には、営業マンを通じてCLTやグランツなど新しい取り組みを伝えていく考えです。コミュニケーションを図ることで、リフォームなどの需要喚起にもつながると思っています。

窪田 わが社の未来への展望があるからこそ、既存客との会話が弾むと思いますよ。これからもお客様一人ひとりと向き合って、誠実に仕事に取り組んでいきます。

野津 いいですね。お客様とコミュニケーションを図り、今の住宅の改善点など、実際に暮らした印象や感想、要望などを聞き出せば、新たな生活スタイル提案のアイデアに

つながるはずです。

——では、最後にこれまでと変わらず続けていくことは。

窪田 社名が変わったことをきっかけに新たなことに取り組みますが、お客様とのつながりを大切にするのはこれからも変わりません。むしろこれまで以上に深い付き合いにしていきたいと思っています。

石本 住宅営業は、やはり「人」だと思います。当社の営業マンはコミュニケーション能力が高いと自負していますが、それに甘んじることなく、より魅力的な人間になれるように教育し、わが社のブランド向上に尽力したいと考えています。

野津 お客様に寄り添っていくこと。これは変わらず続けていきます。寄り添い続けたからこそ、40年以上にわたり実績を出し続けられたのだと思っています。これからも変わらず、お客様の人生を応援し続ける社員を育てていきたい。だから、新しい社名に「ライフ」をつけたのです。そういう人材のアイデアから生まれたサービスや商品がどういうものになるのかを私自身楽しみにしているし、お客様にも期待していただきたいと思います。

岡山ドームで新社名披露パーティー開催

ライフデザイン・カバヤは、4月8日、岡山市北区の岡山ドームで、新社名披露パーティーを開きました。

全従業員、取引業者など約600人が参加。基弘社長は「今までの社風、文化を大切



にしながら、メーカーとして生まれ変わり、デザインにかかわる仕事にワクワク、ドキドキしながら取り組む喜びを分かち合い、共に成長し、仕事の楽しさを実感できる会社を目指しましょう」とビデオメッセージを送りました。

その後、テレビ放映する社名変更用の新CM、社名変更を記念したムービーを披露。新たな門出に窪田健太郎専務は「今日が第2の創業日です。新築住宅のみならず、リフォーム、不動産、新規事業である木造ゼネコン部門を大きく成長させ、イノベーションを起こしたいと考えています。100年先も輝ける企業をみんなで目指していきましょう」と抱負を語りました。



新入社員136人が グループの一員に！

2017年度グループ合同入社式が、4月3日、ターミナルスクエア12階大ホールで開催されました。オハヨー乳業、カバヤ食品、ライフデザイン・カバヤ、フジ物流、エクセルパック・カバヤ、イケダペットファーム、東京レジャー開発、システムメイトの新入社員136人が出席。野津基弘社長は、中長期経営計画に基づく経営がスタートしたことに言及しながら、「現状にとらわれず、あるべき姿を描いて、できると思って臨んでほしい」とエールを送りました。これから研修を経て、各々の職場に配属されます。グループの一員として、役職部署関係なく切磋琢磨しながら活躍していくことを期待しています！

世界に通用する人材へ！ ～グループ研修スタート～



入社初日は哲学者の大橋一陽先生が存在目的について講演。一見難しく考えられがちな哲学は「本質を見極める目を養うツール」と、分かりやすく伝えてくれました。所属会社の異なる新入社員ですが、時間軸・空間軸を超えて、統一した存在目的を持つ意義、その重要性がしっかりと理解できたと思います。



2日目はプロゴルファーの鈴木規夫氏にプロフェッショナルの心得を講演してもらいました。ビジョンを持って行動することの重要性を教わりました。鈴木プロの教え通り、「最高を目指し、最悪を想定して備え、そして最善を尽くすこと」を常に念頭に置き、仕事に取り組んでください。



2日目の最後は、身体理論を提唱する廣戸聡一氏の講義で締めくくりました。身体の理屈を知ることによって、「仕事を確実に習得していくことができる」。そんな切り口で講義はスタートしました。脳と身体の関係と同じく、組織も同様。目標設定があり、詳細を説明しなくとも、各自が役割を全うすることが理想の状態です。そのためには状況把握と自分の役割を判断する能力が求められます。その理論を、実際に身体を動かしながら学ぶことができました。

NEW FACE 2017

2017年 新入社員



オハヨー乳業



青木 敬祐
(佐賀県)
硬式テニス



青木 真央
(徳島県)
食べること



安楽 拓哉
(大阪府)
サッカー



井村 徳秀
(大阪府)
食べ歩き



入江 高弘
(大阪府)
筋トレ



岩井 光
(兵庫県)
旅行



大田 恭介
(山口県)
ラグビー



荻野 麻衣
(岡山県)
テニス



奥田 千裕
(東京都)
バードウォッチング



織田 愛海
(広島県)
カフェ・パン屋探し



小山田 裕人
(北海道)
音楽鑑賞



垣原 拓哉
(岡山県)
野球観戦



金子 麻衣
(福岡県)
温泉に入ること



川口 真範
(兵庫県)
スポーツ



川村 翔平
(滋賀県)
スノーボード



齊藤 輝
(千葉県)
サッカー



佐藤 佳那子
(岡山県)
ライブに行くこと



實盛 滯
(岡山県)
フルーツ



杉山 航希
(東京都)
バイクツーリング



田口 由実
(秋田県)
甘いものを食べる



竹内 美咲
(兵庫県)
ライブに行くこと



田島 楓子
(三重県)
雑貨屋に行くこと



田中 万柚子
(千葉県)
世界中を旅すること



中桐 祐
(岡山県)
バンドライブ



西内 聖悟
(岡山県)
サッカー



仁科 萌
(岡山県)
料理



平柳 龍一
(東京都)
動物園めぐり



平山 蒼太
(東京都)
弓道



藤田 公紀
(静岡県)
バスケットボール



堀内 颯
(岡山県)
お酒



本郷 淳
(岡山県)
スポーツ



本庄 秀平
(東京都)
野球観戦



松本 琴音
(愛媛県)
旅行



丸山 大樹
(大阪府)
ボウリング



保田 翔
(和歌山県)
卓球



有田 菜摘
(茨城県)
音楽鑑賞



遠藤 宏典
(岡山県)
剣道



大塚 崇弘
(茨城県)
映画鑑賞



岡本 怜奈
(岡山県)
体を動かすこと



梶谷 涼一
(岡山県)
スポーツ観戦



片岡 和明
(岡山県)
ドライブ



合田 夢菜
(岡山県)
食べ歩き



斉藤 志保
(茨城県)
テレビを見ること



鈴木 美里
(茨城県)
映画鑑賞



鈴木 瑞生
(茨城県)
体を動かす



関澤 直希
(茨城県)
音楽鑑賞



相馬 育実
(岡山県)
野球観戦



武川 陽
(岡山県)
卓球



田中 響貴
(岡山県)
釣り



則枝 優似
(岡山県)
食べ歩き



前田 光一
(岡山県)
バスケットボール



三島 司
(岡山県)
釣り



山元 理恵
(岡山県)
体を動かすこと



吉田 有花
(茨城県)
料理



カバヤ食品



池田 安里
(佐賀県)
K-popを聴くこと



石原 結衣
(香川県)
スポーツ



井原 拓実
(埼玉県)
バドミントン



小川 雄司
(鳥取県)
ランニング



上田 滯
(岡山県)
スポーツ



小川 真実
(千葉県)
楽器演奏



奥村 純基
(岡山県)
スポーツ観戦



小野 美貴
(岡山県)
関ジャニ∞



黒田 志穂
(岡山県)
旅行



齊藤 亜佑美
(広島県)
ライブ



末澤 拳汰
(香川県)
バスケットボール



高橋 航貴
(高知県)
美味しい店巡り



茅根 大樹
(神奈川県)
旅行



中井 翼
(神奈川県)
フットサル



中尾 啓太
(兵庫県)
サッカー観戦



ナカシマ
中島 章博
(岡山県)
美術



二部野 友樹
(岡山県)
スプラトゥーン



ノンノ
濃野 玄
(東京都)
プロ野球観戦



橋本 佳怜
(岡山県)
歌



藤澤 広人
(香川県)
運動



村上 顕駿
(岡山県)
ダーツ



山本 麻里奈
(兵庫県)
美味しいもの探索



安藤 夕紀
(茨城県)
本を読む



石河 直樹
(栃木県)
音楽鑑賞



薄井 拓斗
(茨城県)
ゲーム



宇留野 佑斗
(茨城県)
卓球



大高 幸紀
(茨城県)
音楽を聴くこと



岡 香奈子
(岡山県)
音楽を聴くこと



岡山 慶亮
(茨城県)
ゲーム



小幡 成美
(茨城県)
野球観戦



岸本 拓馬
(岡山県)
音楽鑑賞



坂本 尚也
(岡山県)
サッカー



佐藤 有未
(茨城県)
映画鑑賞



助川 義和
(茨城県)
スポーツ



瀬島 萌未
(岡山県)
音楽鑑賞



林 優樹
(岡山県)
映画鑑賞



藤田 真輝
(岡山県)
読書



藤田 亮
(岡山県)
卓球



堀本 拓真
(岡山県)
卓球



マスコ
益子 拓海
(茨城県)
サッカー



光森 朱里
(岡山県)
イラストを描くこと



森岡 美衣
(岡山県)
食べること



矢板 瑞希
(茨城県)
映画鑑賞



ヤマカミ
山上 麻奈美
(茨城県)
音楽を聴くこと



ライフ
デザイン・
カバヤ



池上 未穂
(岡山県)
映画を観ること



内田 和斗
(島根県)
料理



大林 明日香
(岡山県)
スイーツを食べること



岡野 詩織
(広島県)
旅行



尾崎 義明
(岡山県)
麻雀



コウモト
河本 祐希
(岡山県)
野球



下田 望夢
(岡山県)
運動



セイイブ
清板 海士
(岡山県)
ソフトテニス



高橋 優太
(広島県)
サッカー



田中 雄士
(京都府)
競馬



土井 未来
(岡山県)
旅行



ナカダ
中田 恒輝
(富山県)
野球



永井 将嗣
(広島県)
ギター



原野 愛菜
(岡山県)
演劇鑑賞



フジバ
札幌 祐希
(岡山県)
インテリアショップ巡り



松野 哲朗
(岡山県)
スノーボード



丸山 将吾
(広島県)
フェスに行くこと



山口 友里絵
(岡山県)
ゴルフ



イケダペット
ファーム



櫻井 鈴音
(滋賀県)
音楽を聴くこと



清水 麻梨乃
(富山県)
アニメ



ダイドウ
大道 莉沙
(大阪府)
旅行に行くこと



萬岡 綾果
(千葉県)
猫と遊ぶこと



エクセル
バック・
カバヤ



梶 祐輔
(岡山県)
野球



タカハチ
高八 弘奈
(香川県)
散歩



タケモト
岳元 柚月
(岡山県)
バドミントン



フジ物流



片山 勇希
(岡山県)
カラオケ



中本 樹
(岡山県)
バスケットボール



システム
メイト



犬飼 佑汰
(岡山県)
野球



小林 真梨子
(岡山県)
テレビを見ること



ノグチ
野谷 怜志
(岡山県)
ハンドボール



日寺 純也
(広島県)
映画鑑賞



藤原 大己
(岡山県)
音楽演奏



堀内 朗宏
(岡山県)
テニス



三宅 弘騎
(岡山県)
筋トレ



東京
レジャー開発



アライ
荒野 優衣
(茨城県)
カメラ



木原 隆
(広島県)
野球



栗田 霞
(茨城県)
体を動かすこと



野辺 優夏
(福島県)
音楽鑑賞

本人写真

氏名
出身地
趣味

グループ企業と連携し、さくらまつり盛り上げる



カバヤ・オハヨーグループは、4月8、9日の2日間、カバヤ食品岡山工場内で恒例の「さくらまつり」を開催しました。

今年は、イケダペットファームの「アニマルパルーンアート」、カバヤゴルフガーデンの「バターゴルフ」、専門学校岡山情報ビジネス学院の「しろくま先生登場」など、各グループ企業も参加しました。

2日間の来場者は、過去最高の1万451人。どのブースも盛況で、来場者から多くの笑顔が見られました。

終了後は、谷本嘉朗常務からスタッフへ、ねぎらいの言葉があり、さらに「さくらまつりは、地域、社会への貢献に努めるという経営方針に則した意義ある活動」と、活動意義を改めて共有することができました。

今後もグループ企業全体で連携を図り、来場者の皆さんに楽しく、印象に残る「さくらまつり」を開催したいと考えています。

岡山県でペットイベント開催



イケダペットファーム京山店が協力したペットイベント「みまさかペットフェア2017」が、3月26日、岡山県美作市のバレンタインパーク作東で開催されました。

動物と共生する大切さをPRし、少しでも殺処分ゼロに近付けようと企画したイベントで、当日は約300人が来場。災害救助犬による実演や乗馬体験などには多くの人が参加し、大いに盛り上がりしました。また、カバヤ食品、オハヨー乳業も協賛し、お菓子を牛乳をプレゼント。ライフデザイン・カバヤも協力し、動物と一緒に暮らせるリフォームを提案していました。

今後も定期的に開催を検討しているそうで、次回は今秋に企画しているとのこと。グループ社員の皆さんもぜひ参加してみてください。

544人が晴れて入学



専門学校岡山情報ビジネス学院は、4月11日、ホテルグランヴィア岡山で入学式を行いました。

14学科544人が晴れて入学。榊原俊章学院長は、9000人を超える卒業生がいることを伝え、「本学院生としての誇りと自覚を胸に刻み、悔いのない学校生活を送ってほしい。そして、夢を実現するため、5年後、10年後を見据えながら努力してもらいたい」とエールを送りました。

その後、新入生を代表して診療情報管理士学科の高田仁楓さんが「厳しい社会に対応できる人間力や生きる力を身に付け、目配り気配り心配りのできる謙虚な人間へと成長できるよう頑張ります」と力強く宣誓しました。

また、クラーク記念国際高等学校岡山キャンパス（専修学校自由高等学院）も、同日、ターミナルスクエアで入学式を行い、54人が新たな学生生活をスタートしました。

3月9日は「さくさくぱんだの日」!



カバヤ食品は、チョコレート菓子「さくさくぱんだ」の「さく」の語呂合わせで、3月9日を「さくさくぱんだの日」として日本記念日協会に登録し、1月16日に同協会から認定を受けました。

3月9日は、「3.9デイ（ありがとうを届ける日）」「感謝の日」と同日であるため、「さくさくぱんだ」を贈ることで感謝の気持ちを伝える日として盛り上げていきたいと考えています。

今年は、全国の営業所を通じて「さくさくぱんだ」を盛り上げる企画を各地のスーパーなどで実施しました。来年以降も「さくさくぱんだの日」を販促キャンペーンやお客様との接点づくりに活用していきたいと考えています。



ライフデザイン・カバヤ 田村優奈さん

基弘社長はフィジカル面、メンタル面の管理のために、何か習慣にしていることはありますか。



カバヤ食品 木南春樹さん

食堂改革プロジェクトの進捗状況はどうなっているのでしょうか。



野津基弘社長から

どんなに仕事で遅くなっても、自宅に帰ったら世の中のあらゆる才能に触れてから休むようにしています。例えば、イチロー選手の言葉だったり、音楽だったり、映画や録画しているTV番組を見たりしています。また、朝は、起き抜けに気付いたことをノートにメモしています。記憶力に依存せず、書き残すことで頭をクリアにし、創造性のために脳を使えるようにしています。身体のメンテナンスとトレーニングの時間は必ず確保していますよ。仕事のように遊び、遊びのように仕事する。これは昔からです。



カバヤ食品広報 岩本紘子さんから

カバヤ食品、オハヨー乳業では、社員食堂の充実を図ろうと、「社員食堂プロジェクト」を進めています。カバヤ食品では、「社員の心とからだの健康を育む社員食堂」をコンセプトに、まずは岡山本社の食堂の改革を進め、関東工場の改革も検討中です。オハヨー乳業では、従業員同士や会社、健康とも「つながる食堂」をコンセプトに、オハヨー関東工場から着手する予定です。両社とも交代勤務者が利用しやすい営業時間と健康的でおいしく、飽きのこないメニューを提供し、従業員にとって食事が楽しみになり、食への興味関心が高まるような社員食堂の実現を目指しています。現在、その実現に向けて、一緒に改革をともに目指す仲間、社員食堂を運営していただく会社を選定しています。新しい社員食堂の完成を楽しみにしててください。



投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見や ALL for ONE の感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



現場の意見や解決したい問題など、誹謗中傷以外、全て受け付けています。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室 担当:北山
Fax: 086-231-4783 Mail: info@kabaya-ohayo.jp

編集後記

この時期、街を歩けば、真新しいスーツ姿の新社会人をよく見掛けます。初々しい姿を見ると自分の新人時代を思い出し、気持ちを新たにすることができるのでとても好きな季節です。我がグループにも136人の新しい仲間が入社しました。取材で新入社員研修に参加しましたが、まだまだ学生気分が抜けていない人が多い。ただこれは新入社員だけのせいではありません。新入社員は会社の内情を映し出す鏡です。学生気分が抜けていないということは、入社前の段階で会社側がどういった取り組みをしているかが如実に表れているのです。新人があいさつできないということは、先輩、上司があいさつしないということです。新入社員は、会社の姿勢、先輩や上司の意図により、どんな色にも染めることができる白い布です。見事な色に染め上げ、会社の宝になる素晴らしい色に仕上げられるかは、先輩や上司の行動にかかっているのです。(細川)

●「ALL for ONE」について

膨大な情報があふれる社会で、今、本当に伝えたい事を切り取りインパクトを以て皆に伝える。

同時に、3000人の従業員一人ひとりに焦点を当てて皆で支えていく、そのために発行したのが ALL for ONEです。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.11

発行: 2017年5月1日
制作: 「ALL for ONE」編集室
〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9
(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

本 社 住所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電話 086-223-7131
東京本社 住所 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電話 03-3222-7311
Website <http://www.kabaya-ohayo.com/>

オハヨー乳業株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-279-1231
Website <http://www.ohayo-milk.co.jp/>

カバヤ食品株式会社

本 社 岡山市北区御津野々口1100
電 話 086-724-4300
Website <http://www.kabaya.co.jp/>

ライフデザイン・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区中仙道2-9-11
電 話 086-241-8811
Website <http://lifedesign-kabaya.co.jp/>

フジ物流株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-278-4020
Website <http://www.fujibutsuryu.jp/>

エクセルバック・カバヤ株式会社

本 社 岡山市中区雄町394-12
電 話 086-279-8900
Website <http://www.exl-kabaya.co.jp/>

株式会社イケダペットファーム

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0883
Website <http://www.ikedabokujou.co.jp/>

東京レジャー開発株式会社

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0922
Website <http://tokyo-leisure.jp/>

株式会社システムメイト

本 社 岡山市北区芳賀5325-1 岡山リサーチパーク9-1
電 話 086-286-9131
Website <http://www.system-mate.com/>

株式会社スクエアビル

本 社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電 話 086-224-0371
Website <http://www.square-building.com/>

株式会社瀬戸内海経済レポート

本 社 岡山市北区西島田町8-9
電 話 086-805-6188
Website <http://www.visionokayama.jp/>

トータルアシスト・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング11階
電 話 086-235-4422

三友学園グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院
住 所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア1階、3～12階
電 話 086-224-2336
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/>

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス

住 所 岡山市北区島田本町1-2-12
電 話 086-239-1623
Website <http://clark.oic-ok.ac.jp/>

希望高等学園

岡山校 住所 岡山市北区幸町9-1 幸町会館4階
電話 086-232-8135
津山校 住所 津山市大手町11 みつやビル2階
電話 0868-35-2380
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/kibou/>